

長浜市立湖北病院 地域医療連携室だより



令和7年 年末特別号No.29

- へき地医療拠点病院
- 救急告示病院
- 病院群輪番制病院
- 在宅療養支援病院
- 地域包括医療・ケア認定施設
- 臨床研修病院(協力型)

地域住民のための病院づくりを推進し、地域包括医療・ケアを実践します。

年末のご挨拶

平素は、当院にご高配を賜り誠にありがとうございます。
年の瀬もおしせまり慌ただしい日々をお過ごしのことと存じますが、ひとこと年末のご挨拶を申し上げます。

この9月に実施設計が完了し、当初117億円の予算規模で設計を開始しましたが、建築費・物価の高騰で3億円のオーバーとなり、120億円の見積額となりました。さらに、建築開始後の建築費・物価の高騰、病院の赤字経営、建て替えの原資となる過疎債の返済額の計上誤りなどの問題で、今後30年間で27億円の資金不足が生じる見込みとなり、いよいよ病院建て替えかと皆様もお思いになられたと存じますが、現在、病院の建て替えについて市当局と協議を進めています。予算オーバーの分を減額するべく再設計を行うのかも検討中ですが、建て替えの時期がさらに遅くなることで、当院の病院機能が麻痺するのではないかと、住民の皆様にも多大な迷惑をかけるのではないかと大変危惧しております。病院の建て替えは、長浜市北部の地域医療を守るために絶対に欠かせないと考えており、引き続き建て替えの早期実現について、市と協議を進めてまいりたいと存じます。皆様にはご迷惑・ご心配をおかけし申し訳ございませんが、何卒、ご理解を賜りたいと存じます。

良いお年をお迎えくださいますよう、お祈り申し上げ、年末のご挨拶とさせていただきます。



院長 納谷佳男



久田地域医療連携室長



皆様には、平素より多方面で診療連携にご協力いただき、誠にありがとうございます。

早いもので、2025年も残りわずかとなりました。

今回は当院に来てくれる医学生・研修医にオリエンテーションでお話している内容を紹介させていただきます。2012年に総務省より報告された人口ピラミッドの変化によると、2025年の出生率はおおよそ75万人と推計されていました。しかし実際には、コロナパンデミックや物価高騰の影響もあり、上半期報告の33.9万人を2倍しても約68万人程度と、少子化の進行はさらに早まっています。今後は、若い担い手の確保が一層難しくなるとわれ、どの分野においても、「持続可能性」を考えて対応する必要があります。患者様とご家族の生活面では、免許返納で移動手段がなくなり通院が大変になる、年金と貯蓄での生活が物価高で圧迫される、老老介護が進み「8050」を越えて「9060」や「10070」といった状況も、珍しくなくなりました。一方で、年齢に関係なくお仕事や農業を続ける方、趣味を楽しむ方、地域や社会での役割を果たしておられる方もたくさんいらっしゃいます。

また、病院にいますと、年齢にかかわらず予期せぬ病気にかかる患者様を日々経験します。普段からご自身の「もしもの時の過ごし方」について、パートナーやお子さん・お孫さんと話し合い、「希望や考え」を共有しておくことが大切です。診療の場においても、かかりつけ医やメディカルスタッフにお気軽にお声かけいただき、皆さんが考える「豊かな人生とその締めくくり方」について、ぜひお話しください。

患者様にとっての最善、ご家族にとっての最善、社会にとっての最善——。そのすべてを同時に満たすことが難しい時代ですが、皆さまに必要な医療を持続的に提供できるよう、今後も連携業務に注力したいと思います。引き続きご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

年末年始休診のお知らせ12/28(日)～1/4(日)休診となります(救急診療は救急室で行います。)

長浜市立湖北病院 地域包括ケア事業部 地域医療連携室

〒529-0493 滋賀県長浜市木之本町黒田1221 TEL 0749-82-3360(直通) FAX 0749-82-3646(直通)

受付時間 午前8時30分～午後5時00分(水曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)